

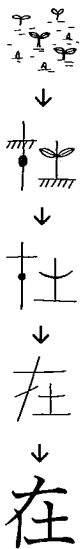
在

五年

画数 6
筆順

一ナナ存在
オン ザイ
フン あいりる

成り立ち



「地中の種が、わずかに根をのばし、芽を出した」形を表した「才」と「土」とを組み合わせて作った字です。

「土の上に、わずかにではあるが、ある」ことを表した字です。「有」も「ある」と読みますが、これは「有る無し」の「有る」で、「〇〇が有る」という意味の字ですが、「在」は「存在する」の「在る」で、「博物館は上野に在る」というように使う字です。

また、「いなか」という意味に使うことがあります。
【例在所（単に「在」とも言います）】

使い方

▽成績の良い悪いは、努力するかしないかに在って、生まれつきに在るものではありません。
▽わたしの祖父母は、いなか（いなか）に在（在）していますが、二人とも健在（健在）です。

熟語例

▽存在（存（存948）も在も「ある」こと。実際にそこに「ある」、という意味を表す時に使います。また、そこに「あるもの」、という意味にも使います。）
▽在在（住んでいること。）
▽健在（健康で生活していること。）
▽滞在（滞は「滞る」と読み、一つ所に永くとどまること。よその土地に行き、そこに永くいること。）
▽在京（東京に在ること。【例在京の同県人】）
▽在郷（郷里に在ること。【例在郷の友人】）
▽在郷（「いなか」。在所「在郷」と同じ使い方もします。）
▽在所（「いなか」。または「故郷」。また、「住みか（住んでいる所）」の意味にも使います。）
▽在世（世に在る、ということ。で、「生きている」という意味に使います。）

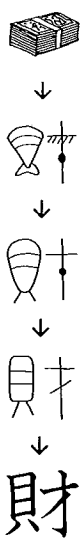
財

五年

画数 10
筆順

目財財
オン ザイ・サイ
フン

成り立ち



貨幣（お金）の意味の「貝」と、今は「わずかに」だけれども、将来は大きな働きをする力がひそんでいる意味の「才」とを組み合わせて作った字です。

「大きな仕事をするための「元手のお金」を表した字です。「資金」や「資産（仕事の元手とすることのできる価値のある物）」を表した字です。

「才」（2年 142）
「在」（5年 720）

使い方

▽財産が豊かだからと言って、心も豊かだとは限りません。たくさんのお金を持ちながら、心の貧しい人がいます。人間の価値は財産に在りません。
▽父は、「店をもっと広げたいが、財源が無い。もっと蓄財に励んでおれば良かった」とこぼしています。

熟語例

▽財産（お金や価値のある物の総称。仕事をするための元手となる物ですから、「資産」とも言います。【例健康が第一の財産だ。】）
▽財宝（財産となる宝物。また、「財産や宝物」）
▽財源（財産を産み出す源。事業をする元手のお金の出所）
▽蓄財（財産を蓄えること。また、「蓄えた財産」という意味にも使います。）
▽財界（実業家や金融業者など、大きな財産を動かしている人々の世界。「社会」のこと。）
▽財布（お金を入れておく物。昔は「布のふくろ」にお金を入れて、口元のひもをしめました。それで、「財布の口をしめる（むだ遣いしない）」と言いました。）